

- 問1 明治維新の指導者の一人として活躍した政治家で、天皇を中心とする中央集権国家のしくみを整えるために、版籍奉還や廃藩置県などを強力に推進した人物は誰ですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 徳川家光 | 3. 木戸孝允 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問2 明治政府が1872年に、近代化を進めるための教育の基盤として公布した、日本で最初の近代的学校制度を定めた法令は何か答えなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|-------|
| 1. 教育勅語 | 2. 教育基本法 | 3. 解放令 | 4. 学制 |
|---------|----------|--------|-------|
-
- 問3 明治政府が1872年から1879年にかけて行った、琉球王国を日本の一つの地方行政単位として組み込んでいく一連の措置に関する記述として、正しいものはどれですか。組織名の変遷に注目して選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. まず沖縄藩を設置して政府の管轄とし、その後に県庁を置いて沖縄県とした | 2. まず沖縄県を設置して近代化を進め、その後に自治を認めて琉球藩とした | 3. まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後に藩を廃止して沖縄県を置いた | 4. まず琉球王国を廃止して沖縄藩を設置し、最終的に鹿児島県に編入した |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
-
- 問4 1873年に明治政府が実施した租税制度の改革について、土地所有者に「地券」を発行し、土地の価格である地価を基準とした一定の税率を、米などの収穫物ではなく現金で納めさせるようにした仕組みを何といいますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 殖産興業 | 2. 版籍奉還 | 3. 地租改正 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問5 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。 | 2. 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。 | 3. 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。 | 4. 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。 |
|--|--|--|---|
-
- 問6 江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
| 1. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。 | 2. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。 | 3. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。 | 4. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。 |
|---------------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|
-
- 問7 1872年に明治政府が公布した、日本初の近代的な学校制度に関する説明として、内容が正しいものを選択してください。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
| 1. 武士の身分を持つ男子のみを対象として、藩校での教育を義務付けた。 | 2. 女性の参政権を確立するために、高等教育への進学を全国民に強制した。 | 3. 日本独自の伝統を重視し、戦後の教育の基本原則を定めた教育基本法に基づいている。 | 4. 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
-
- 問8 明治政府が、都市部においてガス灯の設置や洋風建築の導入といった「文明開化」を積極的に後押しした政治的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代の伝統文化を完全に否定することで、幕府の権威を民衆の記憶から消し去るため。 | 2. 都市部と農村部の経済格差を解消し、日本全体の生活水準を一律に向上させるため。 | 3. 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 | 4. 日本独自の「和魂洋才」という精神を世界に広め、アジアのリーダーとしての地位を確立するため。 |
|--|---|---|--|
-
- 問9 明治政府が地租改正において、税の納め方を「米」から「現金」に変更し、基準を「収穫量」ではなく「地価」とした最大の理由は何ですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 1. 徴兵令の実施に伴い、農民に武器を購入する資金を準備させるため。 | 2. 農村での貨幣経済の普及を遅らせ、伝統的な農業形態を維持させるため。 | 3. 欧米諸国からの要求に応じ、輸出用の米を政府が直接管理しやすくするため。 | 4. 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
-
- 問10 江戸時代の「検地帳」と明治時代の「地券」という2つの資料を比較したとき、地租改正によって新しく導入された考え方として説明できるものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 実際に土地を耕している小作人を保護し、収穫物の大半を小作人のものとした | 2. 土地の広さに関わらず、栽培する作物の種類によって税率を決定した | 3. 土地の売買を厳しく制限し、先祖代々の土地を失わないようにした | 4. 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた |
|--|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問11 1873年（明治6年）から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 1. 土地の価格（地価）を基準とし、米で納める方式 | 2. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式 | 3. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式 | 4. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式 |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|
-
- 問12 明治政府が1873年から実施した地租改正において、税の納め方を「米」から「現金」に、また課税の基準を「収穫量」から「地価」へと変更した主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 地主の権限を弱め、すべての農民に平等に土地を分配し直すため。 | 2. 農村での貨幣経済を抑制し、封建的な社会制度を維持するため。 | 3. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を失わないように保護するため。 | 4. 豊作や不作にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
-
- 問13 明治政府の重鎮である大久保利通が、1873年に内務省を設置して自ら初代内閣卿に就任し、強力に政治を推し進めた背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 国民の声を広く政治に反映させるため、速やかに国会を開設して政党政治を確立する必要があると考えた。 | 2. 武士の特権を維持することで、地方での反乱を未然に防ぎ、不平士族の不満を解消しようと考えた。 | 3. 欧米諸国に対抗するため、国内の治安維持と産業の育成（殖産興業）を一体化して推進する必要があると考えた。 | 4. 天皇を中心とした中央集権体制を固めるため、廃藩置県を断行し、江戸時代の幕藩体制を完全に否定しようと考えた。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 木戸孝允	幕末の薩長同盟において重要な役割を果たした人物で、明治新政府では廃藩置県などの改革を主導しました。これらは、江戸時代まで続いていた藩の仕組みを廃止し、全国を政府が直接統治する中央集権体制を確立することを目的としていました。
問2	答え 4 学制	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代国家を建設するためには国民全体の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年にこの法令を公布しました。これにより、全国に小学校を設置し、身分や男女の区別なくすべての国民が教育を受ける体制が整えられ始めました。
問3	答え 3 まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後、藩を廃止して沖縄県を置いた	明治政府は中央集権国家の確立と国境の画定を急いでいました。1872年に琉球王国を琉球藩とし、国王の尚泰を藩王とすることで日本政府の支配下にあることを示しました。さらに1879年、警察や軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して沖縄県を設置し、完全に日本の地方行政組織に組み込みました。この一連の政治的措置を「琉球処分」と呼びます。
問4	答え 3 地租改正	明治政府は、国家財政を安定させるために大規模な税制改革を行いました。それまでの豊作・不作に左右される米による納税（物納）から、土地の価格（地価）に基づいた金納（現金による納税）へと切り替えたことが大きな特徴です。この際、土地の所有権を正式に認める証書として「地券」が土地所有者に交付されました。
問5	答え 3 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。	地租改正の大きな目的は、国家予算を安定させることでした。基準を「地価」という固定的な値にし、納税を「現金」としたことで、農作物の価格変動や収穫量の増減に政府の収入が左右されなくなり、近代国家としての計画的な財政運営が可能になりました。なお、小作人への土地の売り渡しは第二次世界大戦後の農地改革の説明であり、地租改正の内容とは異なります。
問6	答え 4 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問7	答え 4 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するためには国民全体の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年に「学制」を公布しました。これにより、それまでの身分制に基づいた教育ではなく、身分や男女の区別を廃した「国民皆学」の理念が掲げられ、すべての子供が小学校に通うことが義務付けられました。
問8	答え 3 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばされた不平等条約の改正は国家の悲願でした。そのためには、日本が法制度だけでなく社会生活においても欧米並みの「文明」を備えた近代国家であることを対外的に証明する必要がありました。このように、生活様式の変化は単なる流行ではなく、外交上の目的とも深く結びついていました。
問9	答え 4 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。	江戸時代の年貢（米納）は、その年の収穫量や米の市場価格によって政府の収入が大きく変動するという欠点がありました。近代化を進める明治政府にとって、軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）には計画的な予算編成が不可欠でした。そのため、土地の価値（地価）に基づいた一定額の現金を徴収することで、作柄に関わらず毎年決まった額の税収を確保できる仕組みを整えたのです。これが地租改正の最も重要な目的でした。
問10	答え 4 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた	江戸時代の検地帳には実際に耕作を行う者の名前が記されていましたが、地租改正で発行された地券には、土地の価値である「地価」とともに、その土地の「所有者」が明記されました。これにより土地の私有権が法的に認められ、土地の売買も自由になりましたが、同時に地主が納税の責任を負う仕組みとなりました。
問11	答え 3 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問12	答え 4 豊作や不作にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は「豊作なら多く、不作なら少なく」という仕組みだったため、政府（幕府や藩）の収入が不安定でした。近代化を進める明治政府は、軍隊の整備や産業の育成に多額の資金を必要としたため、地価（土地の値段）を基準に税率を固定し、さらに現金で納めさせることで、景気や農作物の出来に左右されない確実な予算編成を行おうとしました。この改革は後に地主と小作人の関係を固定化させる要因にもなりました。
問13	答え 3 欧米諸国に対抗するため、国内の治安維持と産業の育成（殖産興業）を一体化して推進する必要があると考えた。	大久保利通は、岩倉使節団でイギリスなどの先進国を視察した経験から、日本の独立を維持するためには内政の充実（富国）が最優先であると判断しました。そのため、警察権を握ることで国内の混乱を抑えつつ、政府主導で鉄道や通信、官営模範工場を整備する「殖産興業」を強力に実行するための拠点として内務省を機能させました。